

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	35400 沖縄交流事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	学校教育課	担当班	指導班
基本施策		17	交流の促進	根拠法令	旭市補助金等交付規則	沖縄交流事業補助金交付要領	10	1	2			
施策の展開		32	自治体間交流の促進	戦略事業	157 沖縄交流事業							
施策の展開				戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 10 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		友好交流市村締結・宣言をした沖縄県中城村との一層の親善を図り、心豊かなまちづくりとお互いの発展につながるよう交流を深める。市内小学校15校のうち、毎年3校の小学5年生が中城村を訪問するとともに、中城村からの訪問団を迎え入れ、交流を深める。この事業により、児童の豊かな人間性や社会性を養うとともに、リーダーとしての自覚と責任感等の資質を高め、旭市の次代を担う人材の育成に寄与する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成10年、旧飯岡町の小学校2校と中城村の小学校3校との間で交流事業が始められた。平成17年の合併の際、旭市へと引き継がれ、現在は市内15校を3校ずつの組とし、輪番により交流を実施している。		輪番制になってから2順目を終えるにあたり、各校の児童数の変化等を勘案し、機会の均等を期し、参加校組み合わせの修正を行う。また、沖縄県中城村からの要望により、実施時期を3週ほど早めて行う。	参加児童保護者より、「旭市の代表という大きな役割の中緊張感・達成感を味わい、充実・満足できる貴重な体験となった。」「(沖縄への訪問は)3日間ではあるが、とても成長できた。」など、肯定的な意見が寄せられている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)		単位: 千円
1. 普通旅費	0	沖縄県中城村来旭者出迎え
2. 特別旅費	130	沖縄交流事業随員職員旅費
3. 沖縄交流事業補助金	2,059	沖縄交流事業補助金
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	0	
2. 都道府県支出金	0	
3. 地方債	0	
4. その他	0	

		単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
事業費	1. 普通旅費	千円	3	2	0	0	0
	2. 特別旅費	千円	118	107	137	130	150
	3. 沖縄交流事業補助金	千円	1,568	1,635	1,743	2,059	2,167
		千円					
	事業費計 (A)	千円	1,689	1,744	1,880	2,189	2,317
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	1,689	1,744	1,880	2,189	2,317

前年度増減理由	現地で看護師同行費用、民間バス借上げ料(早朝出発のため)及び、報告書製本費の増加分による。
---------	---

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

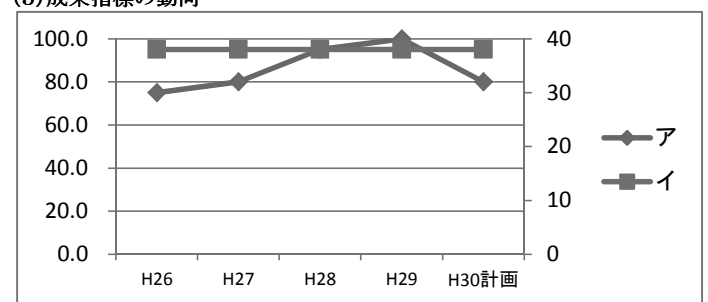
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	29年度実績 (29年度に行った主な活動) ・旭市児童の沖縄訪問 ・中城村児童の旭市訪問の迎え入れ		ア 旭市児童の沖縄訪問回数	回	1	1	1	1	1
			イ 中城村児童の旭市訪問回数	回	1	1	1	1	1
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	対象 ・旭市児童 意図 ・豊かな人間性、社会性の育成 ・リーダーとしての自覚と責任感等の資質の向上 対象意図 ・旭市児童ならびに中城村児童 ・旭市と中城村との交流促進		ア 沖縄訪問後、中城村児童としっかり交流できたと答えた児童の割合	%	75.0	80.0	95.0	100.0	80.0
			イ 旭市及び中城村児童による沖縄及び旭市訪問の年間延べ人数	人	38	38	38	38	38

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難									
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)											
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	成果動向	比較	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
		成果指標イ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	26年度		27年度	28年度	29年度	30計画			
	【コメント】 (低下の場合、その理由)											
	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容	今後の方向性							
			前年度同様に実施	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()						